

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2012 年度事業報告書

2013 年 5 月



2012 年度事業報告

2012 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日まで

2012 年度金融知力普及協会活動の通信簿

	教育活動	インストラクター	イベント	コンテンツ	財務運営
内容	通信教育 講師派遣 検定試験等	インストラクター制度の充実	キッズマーケットキャンプ [®] エコノミクス甲子園等	従来コンテンツの整備、 新規コンテンツの拡充 等	事務局運営についての 財務状況
数値 実績	通信講座:160件 セミナー参加:616名 検定試験:123件	インストラクター総数:827名	キッズ:31名 エコ甲:1,720名 子ども経済塾:68名	エコノミカ:362個 フォローアップ:26名	黒字達成:54万円
評価	△	△	○	○	○
12年度 概要	受講者、受験者は前年 度並みであり、増加に はつながらなかった。	教育指定校が活動を増 加しているものの、現 存のインストラクター向 けの施策は最低限。	各イベントはいずれも非 常に盛り上がり、メデ ィアでの露出も大きか った。	1)経済TCG エコノミカ 2)インストラクター フォローアップセミナー	年間で54万円の黒字を 達成。
13年度 戦略	出来るだけ低コストでの 運営を心がける。	インストラクター紹介ペ ージを活用し、活躍の場 を増やす。	エコノミクス甲子園は40 大会実施を目標。キッ ズマーケットキャンプは リニューアルを行う。	販促を行いエコノミカの 売り上げ増を図る。また 追加カードセットなどコ ンテンツを充実させる。	今後さらなる収益拡大 を目標にする。

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」や小・中学生向けの「キッズ・マーケット・キャンプ」など、金融経済教育イベントの規模を拡大し、一定の実績を上げることができております。また、将来の収益につながる新たな事業にも取り組んで参りました。今後はこれまで開催してきたイベントをより活発に展開し、新たな収益事業を育て、活動の規模を拡大して参ります。そして自発的に活動する金融知力インストラクターを多数擁する団体としての地歩を固めることが目標です。

2012 年度の事業の経過を総括いたしますと、エコノミクス甲子園等のイベントで成功を収め、各所から好評を得ることができました。通信教育講座、講師派遣等の販売は低調でしたが、財政的には約 54 万円の黒字と、ようやく念願の収支均衡を達成いたしました。

経済カードゲームエコノミカの開発: カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べるカードゲーム「経済 TCG エコノミカ」を開発・販売いたしました。いまカードゲームは子供たちの間で流行しており、欧米のように低年齢のうちからお金の問題に関心を持ってもらうためにも、子供たちの興味をひくカードゲーム形式の教材を作成いたしました。10 歳程度の子供から経済を学び始めの社会人までを対象とした商品で、勉強のための教材でありながらゲームとしても十分楽しめる内容となっております。カードゲームファンからの評価も高く、今後は広報活動を通じてカードの魅力をアピールし、ゲームファンや経済に興味を持つ子供、社会人、そして金融機関などの広報・CSR ツールとして購入をしていただけるよう販促に力を入れて参ります。

エコノミクス甲子園: 33 の都道府県とインターネット大会の計 34 地方大会を開催いたしました。前回大会から 9 大会増となっております。目標としておりました参加者 1,500 名を達成し、全国 335 校の学校から 1,720 名の応募がありました。参加者数が 100 名を超える地方大会もあり、各地方での認知度も高まっております。メディア上での注目度も高く、多くの新聞・テレビ・雑誌に取り上げられました。

2013 年度は、引き続き黒字を達成するとともに、協会コンテンツの発信力を大幅に強化してまいりたいと思います。

2012年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

①川口市子ども経済塾に協力

8月1日～3日の3日間、川口市の主催する「子ども経済塾」を実施いたしました。本イベントは今回で8年目となります。川口市内すべての小学校から6年生の生徒68人が参加し、ライフプランの考え方やお金の管理のしかたなどの金融知力学習を行い、地元企業、銀行等の見学を実施しました。

②第七回エコノミクス甲子園を開催

2月17日、虎ノ門の「イイノホール」にて第七回エコノミクス甲子園の全国大会を開催いたしました。全国33会場で地方大会を実施し、インターネット大会代表の1チームを加えた34の代表チームで競技を行いました。愛知大会代表の東海高校チームが優勝し、優勝商品として4月にNY研修旅行を実施いたしました。第七回大会は全国で860チーム、1,720名の高校生が参加をしております。

③経済カードゲームエコノミカの開発・販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済TCG エコノミカ」を開発・販売いたしました。アマゾンでのネット販売やゲームショップでの委託販売を通じ、362セットを売り上げております。今後も新カードパックの発売や販促活動を行い、販売数の増加を目指してまいります。

④金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を3月9日（土）に実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「仮認定インストラクターの正式認定」、「資格更新機会の提供」となっております。座学での受講に加え、DVD受講もできるようにし、全国から26名のインストラクターが受講いたしました。今後も定期的にフォローアップセミナーを実施してまいります。

⑤金融知力インストラクター紹介サイトの整備

有志の金融知力インストラクターの情報を紹介する「金融知力インストラクター紹介サイト」を作成いたしました。協会のホームページにリンクを貼り、閲覧ができるようにしております。このサイトでは、掲載されているインストラクターの情報を調べセミナー講師の依頼ができるようになっております。今後はこのページを活用して、金融知力インストラクターの活動の活性化を図ります。また、サイトの利用者から講師紹介の仲介料を得ることで協会の収益源確保にもつなげて参ります。

I-2. 金融知力教育事業

①通信教育

2012年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	120名	121名	999名
アドバンスド コース	40名	41名	679名
合計	160名	162名	1,678名

販売数は依然低落傾向です。基本的にはコストをかけず現状維持を目標とします。

③セミナー・研修

2012年度に当協会が主催、受託、講師派遣した主な研修と受講者数は以下の通りです。

研修・セミナー	参加人数
【日本商業教育学会千葉支部】 高校・大学教員向け講演	34人
【高島屋】 高島屋商い塾	73人
【テルウェル北海道】 社員向けセミナー	120人
【川口市】 子ども経済塾	68人
【最高裁判司法研究所】 東京地裁 裁判官向け研修	24人
【NTT ドコモ】 ライフデザイン研修	142人
【高島屋】 社会知識研修	43人
【高島屋】 社会知識研修プロセールス編	4人
【NTT ドコモ東北】 ライフデザイン研修	21人
【最高裁判司法研究所】 東京地裁 裁判官向け研修	35人
【NTT ドコモ北海道】 ライフデザイン研修	10人
【NTT ドコモ中央グループ】 ライフデザイン研修	40人
【名護商工高校】 教員向けミドル研修	2人

I-3. その他特記事項

①寄付金

エコノミクス甲子園の開催の為、プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社様より 1150万円のご寄付、ラッセル・インベストメント・グループ様より 30万円のご寄付、シティ財団様より約 245万円（3万2千ドル）のご寄付、株式会社一休様より 50万円のご寄付、グリー株式会社様より 100万円のご寄付をいただきました。

また、個人として金子昌資氏より 200万円のご寄付をいただき、エコノミクス甲子園寄付金収入に繰り入れております。

昨年と比べ寄付の総額は約 797万円増となりました。

Ⅱ. 財務の状況

2012年度の収支の状況は別紙のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

下記、公認会計士より

- ・ 経常収益は合計で、35,424千円から47,688千円へと増大いたしました。
- ・ 個別的には、エコノミクス甲子園に係る収入以外は減少しています。
- ・ 事業費は35,706千円で、そのうち9,884千円が人件費となっております。
- ・ 管理費は10,667千円となっております。そのうち5,894千円が人件費です。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用は、昨年の44,078千円から46,373千円へ増加いたしました。
- ・ 活動計算書における貯蔵品除去損705千円に関しましては、内容が古く再活用できなくなった旧通信講座テキスト(グラウンドステージ、選択科目教材)を廃棄した分です。
- ・ エコノミクス甲子園に係る収入の増加分が、経常費用の増加分、貯蔵品除去損分を上回り、当期正味財産は540千円と、黒字を達成しております。

以上